



## 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社チェンジ 上場取引所 東  
 コード番号 3962 URL <http://www.change-jp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 福留 大士  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 山田 裕 TEL 03-6435-7340  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,560	50.4	322	109.9	317	120.3	213	127.7
28年9月期第3四半期	1,037	—	153	—	144	—	93	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	66.59	59.24
28年9月期第3四半期	33.70	—

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成28年9月期から行なっているため、平成28年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 平成28年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、平成28年7月6日開催の取締役会決議により、平成28年7月29日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
29年9月期第3四半期	1,411	1,068	1,068	850	75.7	
28年9月期	1,242	850	850	—	68.4	

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,068百万円 28年9月期 850百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	—
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,980	27.7	331	77.3	325	84.7	218	84.4	68.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（平成29年8月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	3,240,100株	28年9月期	3,160,000株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	一株	28年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	3,207,002株	28年9月期3Q	2,782,445株

(注) 当社は、平成28年7月29日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心として企業収益や雇用情勢の改善が続き、個人消費や企業投資に力強さが欠けるものの、穏やかな回復傾向で推移いたしました。一方海外経済は、ASEANの一部では景気の減速傾向が続いたものの、米国・欧州経済は緩やかな回復傾向にあり、また、減速傾向にあった中国経済も持ち直す兆しが見え始めています。

当社を取り巻く市場環境については、モバイル/スマートデバイス、情報セキュリティ、クラウド、ビッグデータ、IoT (Internet of Things:モノのインターネット)、ロボティクス、AI (Artificial Intelligence:人工知能) など、主な領域で軒並み2ケタの市場成長率を誇り、ポテンシャルの高さがうかがえます。政府が主導する働き方改革、第4次産業革命、高度人材育成の各種政策を背景に、個別の企業の動向をみてもこのような新しいITへの企業の投資が活発であります。

このような状況の中で当社は、「Change People, Change Business, Change Japan」をコーポレートミッションに、モビリティ、IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティ、ロボティクス、AIなどの新しいテクノロジーを活用したサービス及びIT人材育成サービスを「NEW-ITトランスフォーメーション事業」として展開し、日本企業の業務オペレーションやビジネスモデルに変革をもたらし、生産性と付加価値を向上させるべくビジネスを推進しております。当社では、このような変革をもたらす新しいIT技術を「NEW-IT」と呼んでおります。「NEW-IT」とは、従来の価格が高く、構築に時間がかかり、使い勝手の悪いITとは異なり、昨今本格化している価格がリーズナブルで、導入が早く、使い勝手の良いITを指します。モビリティ、IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティ、ロボティクス、AIなどのNEW-ITを構成する要素を組み合わせ、ビジネスにおける経営課題や業務課題のソリューションをワンストップで提供し、また新しいITを担う人材育成を行っております。

当社は、「NEW-ITトランスフォーメーション事業」をMobile Sensing Application (モバイルデバイスの活用とセンサーなどを用いた自動データ収集の仕組み構築・運用を行うライン)、Enterprise Security & Infrastructure (クラウドなどを用いたITインフラの刷新及びセキュリティツールの選定・導入を行うライン)、Analytics & IoT (IoTを活用したオペレーション・ビジネスモデルの再構築及びビッグデータの解析・活用を行うライン)、Next Learning Experience (IT事業者のNEW-IT化支援及びNEW-ITを実現する人材のための次世代学習プログラムの提供を行うライン)の4つのサービスラインで展開しております。それぞれのサービスライン毎にライブラリ (顧客の業務改革を実現するためのツール・ノウハウ)を有しており、日本を代表する大企業に対して継続的なサービス提供を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、AR (Augmented Reality:拡張現実)を用いた現場教育アプリケーションの開発、大手企業や政府官公庁における働き方改革を支えるモバイルセキュリティプラットフォームの販売、地方創生を目的とした自治体向けビッグデータの活用支援、労働人口の減少を見据えたロボティクスインテグレーション等の新たなサービスの提供が順調に推移いたしました。また、AIスピーカー・音声インターフェース向けアプリケーションの開発、AIを用いた業務プロセスの自動化・省力化、IoTを活用した新たなビジネスモデル構築、第4次産業革命を支えるデータサイエンティストの育成などライブラリの拡充に努めるとともに、NEW-ITのエコシステムを構築すべく他社との資本提携及び業務提携を進めました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,560,285千円 (前年同期比50.4%増)、営業利益は322,934千円 (同109.9%増)、経常利益は317,647千円 (同120.3%増)、四半期純利益は213,561千円 (同127.7%増)となりました。

なお、当社はNEW-ITトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は1,276,996千円となり、前事業年度末と比較して113,344千円増加しました。これは主に、現金及び預金が286,086千円増加したことによるものです。また固定資産は134,267千円となり、前事業年度末と比較して54,958千円増加しました。

以上の結果、総資産は1,411,263千円となり、前事業年度末と比較して168,302千円増加しました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は281,834千円となり、前事業年度末と比較して60,371千円減少しました。これは主に、買掛金が117,724千円減少したことによるものです。また、固定負債は60,499千円となり、前事業年度末と比較して9,745千円増加しました。

以上の結果、負債合計は342,333千円となり、前事業年度末と比較して50,625千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,068,929千円となり、前事業年度末と比較して218,927千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が213,561千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期通期個別業績予想につきましては、本日(平成29年8月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	751,650	1,037,736
売掛金	335,292	214,465
たな卸資産	6,609	8,036
その他	70,099	16,757
流動資産合計	1,163,652	1,276,996
固定資産		
有形固定資産	32,557	32,715
無形固定資産	7,015	13,532
投資その他の資産	39,736	88,019
固定資産合計	79,308	134,267
資産合計	1,242,960	1,411,263
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,543	49,818
1年内返済予定の長期借入金	40,721	44,284
未払法人税等	36,790	83,126
その他	97,150	104,605
流動負債合計	342,205	281,834
固定負債		
長期借入金	34,893	45,188
資産除去債務	13,467	13,520
その他	2,393	1,790
固定負債合計	50,753	60,499
負債合計	392,959	342,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	223,060	225,743
資本剰余金	183,560	186,243
利益剰余金	443,381	656,943
株主資本合計	850,001	1,068,929
純資産合計	850,001	1,068,929
負債純資産合計	1,242,960	1,411,263

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,037,628	1,560,285
売上原価	598,571	896,476
売上総利益	439,057	663,809
販売費及び一般管理費	285,203	340,874
営業利益	153,853	322,934
営業外収益		
受取利息	1,819	10
受取配当金	0	-
受取手数料	14	17
その他	21	-
営業外収益合計	1,856	27
営業外費用		
支払利息	1,151	447
支払保証料	1,607	-
為替差損	8,753	4,867
営業外費用合計	11,512	5,314
経常利益	144,197	317,647
特別損失		
固定資産除却損	67	0
特別損失合計	67	0
税引前四半期純利益	144,129	317,647
法人税等	50,348	104,086
四半期純利益	93,781	213,561

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

当社はNEW-ITトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。